

保護者の皆様へ

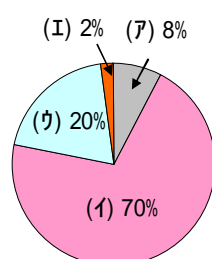
小郡市立のぞみが丘小学校
 P T A 会長 楠 良司
 校 長 井上 正明

「 “ 新 ” 家庭教育宣言」取り組みのご報告

初冬の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より学校運営ならびにP T A活動にご協力を賜り誠にありがとうございます。
 皆様の協力により行いました「 “ 新 ” 家庭教育宣言」の最終報告をまとめましたのでお知らせ致します。

問1. 家庭教育宣言の取り組みを実践して良かったと思いますか？



(ア) たいへん良かった
 (イ) 良かった
 (ウ) あまり良くなかった
 (エ) 良くなかった

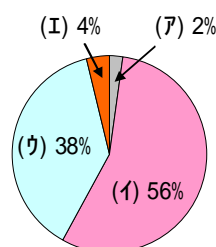
《良かった理由》

- ・日常のことをふり返るきっかけとなった
- ・子どもとのコミュニケーションの時間が増えた

《良くなかった理由》

- ・点数を評価用紙につけることに抵抗があった
- ・取り組み期間が終わると続かない
- ・めんどろだった

問3. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、子どもに何か変化がありましたか？



(ア) たいへんあった
 (イ) あった
 (ウ) あまり無かった
 (エ) 無かった

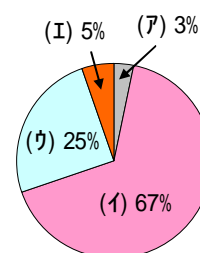
《変化の内容》

- ・毎日の生活に自主的態度が見えるようになった
- ・生活リズム確立に努力が見えるようになった など

短期間にもかかわらず

半数以上の子どもに変化が現れている

問5. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、あなた(親)に何か変化がありましたか？



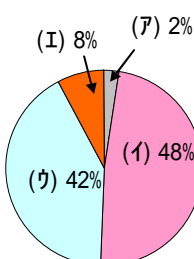
(ア) たいへんあった
 (イ) あった
 (ウ) あまり無かった
 (エ) 無かった

- ・親自身のあり方を考えさせられた

- ・子どもとのコミュニケーションが深まった など

親自身が自分を見つめなおす
 きっかけとなったようだ

問7. 家庭教育宣言の取り組みを実践して、家族に何か変化がありましたか？

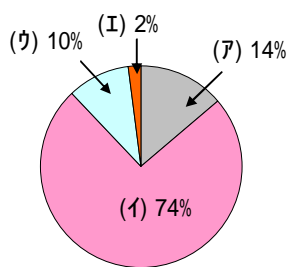


(ア) たいへんあった
 (イ) あった
 (ウ) あまり無かった
 (エ) 無かった

一番子どもと接する時間が多い親には直ぐに変化が現れたが、周りの人の変化が現れるには、もう少し時間がかかるようです。

継続することで周りにも
 影響を与えることが出来ると思います。

問9. 家庭教育宣言で実行したことを今後も続けようと思いますか？



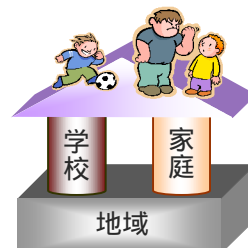
- (ア) たいへん思う
- (イ) 思う
- (ウ) あまり思わない
- (エ) 思わない

今回、この取り組みをしたことで、自分自身をみつめなおし、出来ていると思っていたこと(あいさつ)が、出来ていないことに気づいた。
子育てに危機感を感じているが、1人ではどのようにしたらよいか分からなかった保護者が、今後もこのような取り組みを希望している

のぞみが丘小学校PTA取り組みスローガン

「あいさつからはじめよう！子どもと共に親育ち！」

～取り組みを終えて～ まとめ



今年度の取り組みは、県からの指定ということもあり、数字で評価をしたりアンケートのお願いをしたりと、皆様へのご負担があったにもかかわらず、取り組みに対しては殆どの保護者の方が取り組みの継続にご賛同くださっています。

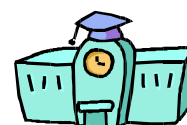
今後は、学年または、学級でテーマを設定し、このような活動を継続して行きたいと考えております。
地域・学校・保護者が一体となり、より良い子育て環境の確立をめざすためにも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今日、とてとても勇気を出して、大人の人にあいさつをしたけれど、知らないふりをされて、すごく悲しかったです。..

(児童の感想文より抜粋)

これは、子ども達の感想文に多く書かれていた言葉です。

こんな思いを子どもにさせない様に、みんなで親育ちをしましょう！



～取り組みを終えて～ 「子ども達の感想文」の紹介

家庭教育せんげんの感想
三年 N T

わたしは家庭教育せんげんをして思ったことがあります。
一つ目は、第一きの時のことです。
わたしはさいしょの時、あまりやる気がありませんでした。
家でお母さんといっしょにやってみました。
でも、二人とも、かくのもやるのもよくわすれていました。
せんげんしたことは、「会った人、全員にあいさつをする」でした。
今では「あの時、きちんとやっておけばよかったな」とはんせいしています。
二つ目は、第二、三きの時のことです。
前よりも少しは忘れずにできました。
「おはようございます！」や「いただきます」をいうのが目ひようでした。
朝のあいさつを通りすがりの人にしました。
でも、だんだんよくなってきたなと思った時には、もう終わってしまいうころでした。
そのかわり、家庭教育せんげんがなくても、あいさつをするくせをつけて、色々な人にあいさつをしようと思いました。
そして家庭教育せんげんが終わって、わたしは、気がついた人たちに「おはようございます」や「こんにちは」ということがだんだん、ふつうのようなことになってきました。
わたしは母さんといっしょに弟をようちえんに送りにいって、その帰りに、道で会った人全員にできるだけ大きな声であいさつができたのでお母さんに、「すごいね。ママより早くできてえらいね」と言われました。
その時はとても嬉しかったです。
そして「これからもどんどん、だれよりも早く、あいさつをしようと思いました。」

子ども達の感想文...裏紙面へつづく



福岡県PTA連合会指定事業・・・「新」家庭教育宣言

のぞみが丘小学校PTA取り組みスローガン

「あいさつからはじめよう！子どもと共に親育ち！」

子ども達の感想文（２）

おかあさんとあいさつ
二年 H T

「リリリリリン」

ぼくの目ざまし時けいになりました。かいだんをいそいでおりました。

おかあさんとぼくは、いつせいに、

「おはよう」

「おはよう」

と声がかさなり合うように言いました。

いつもは、ぼくの方が早くあいさつ

できるのに今日は、どうてんでした。

ぼくと、おかあさんのあいさつがかさ

なり合ってふしぎだなとおもいまし

た。

ぼくもおかあさんも、

「フフフフフ」

とわらいました。

ぼくは、さつきまで、ねむかったの

に、あいさつをしたら目がぼつちり

になりました。

朝から元気のいいあいさつをすると

本当に気持ちがいいです。

おはよう！



あいさつの良さ
五年 K H

私は、あいさつをして良い気持ちになった時と、いやな気持ちになった時があります。

良い気持ちになったというのは、私が、

「おはようございます」と学校に行くときに

近所のおばさんに声をかけると、にっこり笑

って、「おはよう」とあいさつをかえしてく

れたことです。そのとき私は、すごく良い気

持ちになりました。

次に、あいさつをしていやな気持ちになっ

たというのは、犬の散歩をしているときに、

横を通りかかったおじさんに「こんにちわ」

と声をかけると、何も言わずに、むしをして

行ってしまいました。その時私は、どうして

あいさつをかえしてくれないのかなと、いや

な気持ちになりました。

このように、あいさつの一言で、気持ちが

かわると思いました。なので、相手の人がい

やな気持ちではなく、いい気持ちになれるよ

うに相手のことを考えて、あいさつをできれ

ばいいと思います。

知らない人などに、あいさつをするのは、

すごく勇気がいることかもしれないけれど、

すこしずつあいさつを増やしていけたらいい

と思います。

それに、「おはようございます」だけでは

なく、「いってきます」など、いろいろなあ

いさつを言えたらいいと思います。最初は、

どきどきして、上手く言えないときがあると

思うけど、少しずつあいさつを増やして、自

然にあいさつが、相手より先に、できるよう

になりたいです。

また、暗い顔で言わずに、相手の顔をしっ

かり見て、元気にあかるいあいさつをできる

ようになりたいです。

あいさつをすると、知り合いや、友達が増

えて、今よりもっと、楽しく、いろいろなこ

とができると思います。

家庭教育宣言を終えて
五年 K A

私は、朝起きてとても眠たい時、両親から

「おはよう」と言われると、大きな声で元気

良く「おはよう」と言います。その時は、

「よし今日も一日がんばるぞ」と言う気持ち

になって、やる気もりもりわいてきます。

あいさつは、する人もされた人もとても気

持ち良くなる。「まほうのことば」だと思い

ます。

私の好きな言葉の中に、「ありがとう」が

あります。

母は、家庭教育宣の中で、「ありがとうを

たくさんみつけよう」という目標を立てまし

た。

「ありがとう」とは、とてもやさしい言

葉だけれど、目を見て言うのは、てれくさく

て、はずかしい言葉だと思っていました。

朝一番に新聞を取ってきた時も、日曜日、

私がお料理をした時も、おふろをそうじした

時も、お庭そうじをした時も、「お手伝いあ

りがとう。とっても助かったよ」と言ってく

れました。

鳥や犬や動物は、言葉を話すことはできま

せん。

あいさつや相手へ自分の気持ちを伝えて話

すことは、神様が人間だけに与えてくださっ

たプレゼントだと思います。

家庭教育宣言で、ついあいさつをわすれて

しまったり、大きな声で言えなかつたりして

評価が低くなつた時もありましたが、父や母

と一日を振り帰ってあいさつの様子を話す時

間は、とても楽しかったです。家の中も明る

くなりました。

家庭教育宣言を終えて、あいさつが大きな

声で言えるようになりました。

あいさつをしてみたこと

四年 O T

私は、あいさつをしてみようと思った事があります。

「おはようございます」といって、

「おはようございます」とはつきり返してくれる人もいれば、

「おはようございます」と、ちゃんと返してくれるけど、ものすごく

小さい声でたまに、よく聞きとれない時もありました。

その他にも、頭しかさげない人もいました。それにこの前、横断歩道で通りがかったお

じさんに

「おはようございます」とあいさつをしました。

でもむしをして、行ってしまいました。

その時は、少しイヤな気持ちになりました。はつきりあいさつをしてくれる人もいれば、

あいさつをしないでむしする人もいました。

私は、はつきりあいさつをしてくれる人には、

あいさつをしてよかったなあと、思ったけど、むしする人には、イヤな気持ちになりました。

私は、いつも学校に通う時きまって、同じ

おばあちゃん会います。その人は、私たちに

ニツコリ笑い、優しい声で

「おはよう」と

言い話しかけてきます。

私は、いつもあのおばあちゃんにあいさつ

をしてもらうのが楽しみです。

私は、この

「おはよう」と

いうあいさつで、うれしい気持ちになったり、

毎日が楽しくなりました。

だから、私は知らない人にもあいさつをして、

むしをする人も、あいさつを返せるような人になつたらいいと思います。

～取り組みを終えて～「保護者の感想文」のご紹介

(本文を抜粋して掲載しています)

この取り組みを始めてからは、学校外でも子供の方から挨拶してくれることが増えてきたのでよかったです。

ただ保護者の方が、まだまだ挨拶が出来ていないように見受けられるのが残念です。

(三年生お父様保護者より)

最初はなかなか恥ずかしさや、いつものくせもあり大きな声が出なかつたようですが、「今日は横断歩道で会ったおじいさんに大きな声であいさつをしたらニコニコと笑っていて、ほめられたよ」とうれしそうに話をしてくれました。

少しの勇気と気持ちのもちようで、自分も相手も気持ちの良いものになれるのだという事を実感できたようです。

(四年生お母様保護者より)

今回の取り組みは、我が家での家庭教育を振り返るよい機会であったことと、家庭教育のあり方と難しさを考えさせられことに、大きな成果があったと思う。

これから、子供は成長していくことに視野も広がり、考え方も変わってくると思うが、家庭教育も子供の成長に合わせて成長が必要ではないかと思う。その為に、機会があれば、できるだけ学校とふれあい、教育に関する情報と知識を、少しでも身につけていくことが大事ではないかと思う。

(三年生お父様保護者より)

挨拶は、気持ち良く元気にする！誰もがわかりきっていることです。でも、毎日一緒に生活する家族だからこそおざなりになりがちなのも事実です。

私が眠たい気持ちだと、娘も眠い気持ち、私が不機嫌なら娘も不機嫌。そして私が前向きな明るい気持ちなら、娘もやはり明るい気持ちに。

起きてすぐむかう「心のうつし鏡」が朝の挨拶であることに気付くことができました。

挨拶をはじめ言葉のやり取りは、思いやりの受け渡し。

そして、挨拶こそが、家庭に限らず、大切に想う相手への「気持ちのうつし鏡」であることに、今回の小学校での取り組み「家庭教育宣言」で私自身も学ぶことができました。

(五年生お母様保護者より)

今まで様々な講演会に行き、子供たちにはこう接するべき、こんな言葉かけをしたら、より良く育ちますよ、など等聞き、頭では充分理解しているつもりになっていましたが、いざ言葉を発する時や接する時、穏やかな時もあれば感情の波に押し流され切ってしまう時もあり、はつきり言って悪戦苦闘の取り組みだったように思います。

(六年生お母様保護者より)

掲載させて頂きましたの子ども達の感想文ならびに保護者の感想文は福岡県PTA連合会へPTA実践資料として推薦致しました。
ご協力ありがとうございました。

